

1) わが国の慢性透析療法の要約

日本透析医学会は、1968年から毎年毎に、全国の透析療法施設を対象に統計調査を行っている。調査票は、施設調査票（透析ベッド数、スタッフ数、患者数などの施設背景に関する調査）と、患者調査票（個々の患者に関する調査）からなっている。

2015年末の統計調査は全国の4,380施設を対象に実施され、4,321施設から回答が寄せられた。2014年末から9施設の減少である。施設調査票の回収率は98.7%、患者調査票の回収率は94.6%であり、匿名調査開始1年目にもかかわらず、例年とそれほど変わらない回収率であった。調査にご協力いただいた各施設のご好意ならびに地域協力委員の諸兄に対し、紙面をお借りして深甚なる感謝の意を呈したい。

2013年末のわが国の慢性透析療法の現況までは、速報値を用いた速報版として報告して来たが、2014年末のわが国の慢性透析療法の現況からは、従来CD-ROM版で用いていた確定値にて集計・解析されている。なお、患者数の推移など経年的な過去の値は、これまで同様すべて確定値で記載している。

(1) わが国の慢性透析療法の要約 (図表1)

施設数		4,321施設	(9施設減 0.2%減)
設備	ベッドサイドコンソール	133,538台	(1,983台増 1.5%増)
能力	同時透析	131,514人	(1,654人増 1.3%増)
	最大収容能力	438,391人	(5,958人増 1.4%増)

慢性透析患者	324,986人	(4,538人増)
--------	----------	-----------

※慢性透析患者の総数は、施設調査票 患者総数欄の合計であり、治療方法別患者数の合計とは必ずしも一致しない。

人口100万対比	2,592.4人	(75.1人増)
----------	----------	----------

治療方法		通院	入院	合計
血液透析等	血液透析 (HD)	231,835人 (78.5%)	26,539人 (89.6%)	258,374人 (79.5%)
	血液透析濾過 (HDF)	52,757人 (17.9%)	2,576人 (8.7%)	55,333人 (17.0%)
	血液濾過 (HF)	11人 (0.0%)	6人 (0.0%)	17人 (0.0%)
	血液吸着透析	1,344人 (0.5%)	24人 (0.1%)	1,368人 (0.4%)
	在宅血液透析	569人 (0.2%)	3人 (0.0%)	572人 (0.2%)
腹膜透析等	腹膜透析 (PD)	7,030人 (2.4%)	430人 (1.5%)	7,460人 (2.3%)
	週1回のHD (F) 等との併用	1,541人 (0.5%)	35人 (0.1%)	1,576人 (0.5%)
	週2回のHD (F) 等との併用	177人 (0.1%)	8人 (0.0%)	185人 (0.1%)
	週3回のHD (F) 等との併用	27人 (0.0%)	3人 (0.0%)	30人 (0.0%)
	上記以外の併用	68人 (0.0%)	3人 (0.0%)	71人 (0.0%)
2015年末透析患者総数		295,359人 (100.0%)	29,627人 (100.0%)	324,986人 (100.0%)

2015年末透析患者のうち、夜間透析患者数	33,370人	(10.3%)
-----------------------	---------	---------

2015年 HD (F) 等で新規に透析導入した患者数	37,265人	
2015年 PDで新規に透析導入した患者数	2,197人	
2015年 新規導入患者総数	39,462人	(1,135人増 3.0%増)

2015年 透析患者死亡数	31,068人	(361人増 1.2%増)
---------------	---------	---------------

上記は施設調査による集計

透析歴	男性	女性	不詳	計
2年未満	46,952人 (23.4%)	22,427人 (20.1%)	0人	69,379人 (22.2%)
2年～	52,992人 (26.4%)	25,646人 (23.0%)	0人	78,638人 (25.1%)
5年～	50,569人 (25.1%)	27,232人 (24.4%)	0人	77,801人 (24.9%)
10年～	24,517人 (12.2%)	15,543人 (13.9%)	0人	40,060人 (12.8%)
15年～	12,426人 (6.2%)	9,129人 (8.2%)	0人	21,555人 (6.9%)
20年～	6,591人 (3.3%)	5,440人 (4.9%)	0人	12,031人 (3.8%)
25年～	3,560人 (1.8%)	3,170人 (2.8%)	0人	6,730人 (2.2%)
30年～	2,014人 (1.0%)	1,903人 (1.7%)	0人	3,917人 (1.3%)
35年～	1,116人 (0.6%)	980人 (0.9%)	0人	2,096人 (0.7%)
40年～	341人 (0.2%)	276人 (0.2%)	0人	617人 (0.2%)
合計	201,078人 (100.0%)	111,746人 (100.0%)	0人	312,824人 (100.0%)
不詳 (不明・記載なし)	259人	134人	0人	393人
総計	201,337人	111,880人	0人	313,217人

患者調査による集計

最長透析歴	47年6ヵ月
-------	--------

患者調査による集計

解説

今回の調査で回答された施設は4,321施設となり、前年度と比べ9施設 (0.2%) 減少した。ベッドサイドコンソールは133,538台であり1,983台の増加、同時透析可能人数は131,514人、最大収容能力は438,391人であり、それぞれ2014年末と比較して、1.5%、1.3%、1.4%の増加であった。

また2015年末の集計より治療方法に関する集計方法が変更になった。それぞれの方法の全体に占める割合は、血液透析は79.5%、血液透析濾過は17.0%で、血液濾過や血液吸着透析をされているものは0.4%であった。また在宅血液透析は0.2%であった。腹膜透析は2.9%で、そのうち20.0%が血液透析との併用療法であった。

新規導入患者総数は39,462人で、HD (F) 等で新規導入は94.4%、PDで新規導入は5.6%であった。

20年以上の透析患者数は25,391人で前年と比べ561人増加し、全透析患者の中の割合で8.1%と漸増している。最長透析歴は47年6ヵ月であった。